

笑顔あふれる学校

令和 5 年 6 月 1 日
知立小学校 だより
校 長 伊藤 雅彦

学習用タブレット端末を活かした授業づくり ～1 人 1 台のタブレット端末を導入して 3 年目～

Society 5.0 時代に生きる子どもたちにとって、PC 端末は鉛筆やノートと並ぶマストアイテムになりつつあり、今や仕事でも家庭でも、社会のあらゆる場所で ICT の活用が日常のものとなっています。社会を生き抜く力を育み、子どもたちの可能性を広げる場所である学校でもはこれまでに蓄積された教育実践に ICT 教育を取り入れ、これまでの実践と ICT とのベストミックスを図っていくことが求められています。今回は、知立小学校が向かっていく ICT 教育について紹介します。

仲間とともに“タブレットのよりよい活用”を考える

知立小学校 プログラミング教育推進教師

知立小学校では、タブレット活用について、従来の“危険を避ける”ような「情報モラル教育」ではなく、“使いながらよりよい活用を絶えず考え続ける”「デジタル・シティズンシップ教育」を行っています。そのため、できる限り制限をかけず、子どもたちがタブレットのよりよい活用について話し合うなかで、「こう使ってみよう!」「これはどうかな?」と試行錯誤できるようにしています。

実際に子どもたちに「タブレットを使うことで、学校はどのように変わりましたか」と聞いてみました。

【授業】(一部抜粋)

「手を挙げられなくてもタブレットで意見を共有できるから、前より友達に考えを知ったり伝えたりできた(ロイロノート)」「考えを動画などでまとめて説明することができた(iMovie、思考ツール)」

【放課・放課後】(一部抜粋)

「友達と一緒にプログラミングでよりよい作品を作ることができた(scratch)」「タブレットで自分に必要な勉強をいつでもどこでもできるようになった(ミライシード・DONGRI など)」

タブレットの活用と聞くと「一人で使う」という印象が強いと思います。しかし、知立小学校では、子どもたちの回答(一部抜粋)からも分かるように、課題を達成するために、話し合い、「考えをより深めるための道具」としての活用を目指しています。

情報社会における「デジタルの世界」は子どもたちの日常です。これからは、「デジタルかアナログか」「家か学校か」ではなく、子どもたちが、さまざまな目的に合わせて、タブレットをよりよく活用しながら考え続ける力が必要になってきます。そのために、学校のみならず、家庭や地域との連携した支援が重要です。ホームページに情報教育のページも設置しておりますので、そちらもご覧いただき、ぜひ、ご家庭で話し合うきっかけにいただければと思っています。



令和5年度前期運営委員・委員会委員長！

【令和5年度 知立小学校前期運営委員の紹介】

※あいうえお順

5年	1組	さん・さん	2組	さん・さん
	3組	さん・さん	4組	さん・さん
6年	1組	さん・さん	2組	さん・さん
	3組	さん・さん	4組	さん・さん

【令和5年度 知立小学校前期委員会委員長の紹介】

図書	さん	放送	さん	情報	さん
保健	さん	給食	さん	運動	さん
美化	さん	栽培	さん	ボランティア	さん
生活	さん	運営	さん		

運営委員長

さんから
全校児童へのメ
ッセージ



おあさご強調週間…「おはよう」「ありがとう」「さようなら」「ごめんなさい」のあいさつ運動の強調週間

ちりゅうしょうがっこう

知立小学校のみなさん、こんにちは。

もう新しいクラスになってから2か月ほどが経ちました。先生やクラスの友達に元気に挨拶ができていますか。いつも元気に挨拶できているという人もいれば、まだできていないなという人もいます。

そこで、おあさご強調週間があります。普段から元気に挨拶できている人はそこでよりいっそう、まだできていないという人はおあさご強調週間にきっかけに元気に挨拶できるように一緒に頑張りましょう。みなさんの協力で知立小学校がもっとすてきになると思います。みんなで知立小学校を挨拶でいっぱいの学校にしましょう。

1年生を迎える会を行いました！

5月9日（火）に学年の壁を越えた行事、1年生を迎える会を行いました。4年ぶりの開催です。6・5年生の運営委員を中心に子どもたちが企画し、会を進行しました。最後に行ったジャンケン列車も盛り上がりしました。

1年生が笑顔で喜んでいたのはもちろんですが、6・5年生が自信をもった顔つきで会を進行し、1年生にかかわっていた姿がとても印象的でした。一回り大きく成長した気がします。こんな行事を引き続き行っていけたらと思います。

